



日本設計本社新オフィス 虎ノ門ヒルズ森タワー 34+35F

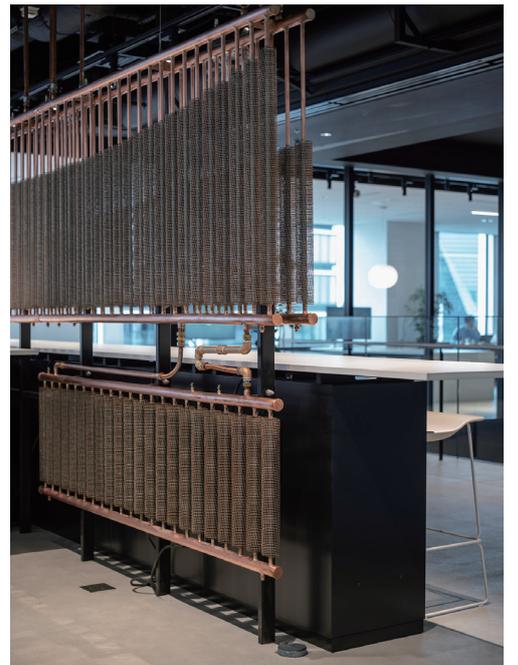
東京都港区 2022年納入 除湿型放射冷暖房 PS HR-C+C

創造性・生産性を向上するオフィス

2023年、株式会社日本設計は虎ノ門に本社を移転。新オフィスでは、多様な働き方に対応するだけでなく、その日の作業内容や気分に合わせて働く場所を自由に選べる環境が整備されました。より自由度の高い、社員の創造性・生産性を向上するオフィスになっています。

従来のオフィスではどの空間も均一な環境を目指すことが一般的でした。新オフィスでは、温度環境や照明をあえて均一にはせず、場所ごとに個性を持った「多様な環境」を作り出し、社員それぞれが自分の気分や作業内容に合わせて、快適な仕事場所を選ぶことができるようにしました。多様な環境をつくることにより、必要な場所に必要だけエネルギーを使う仕組みができ、温度や照明を均一にするよりも省エネに繋がります。

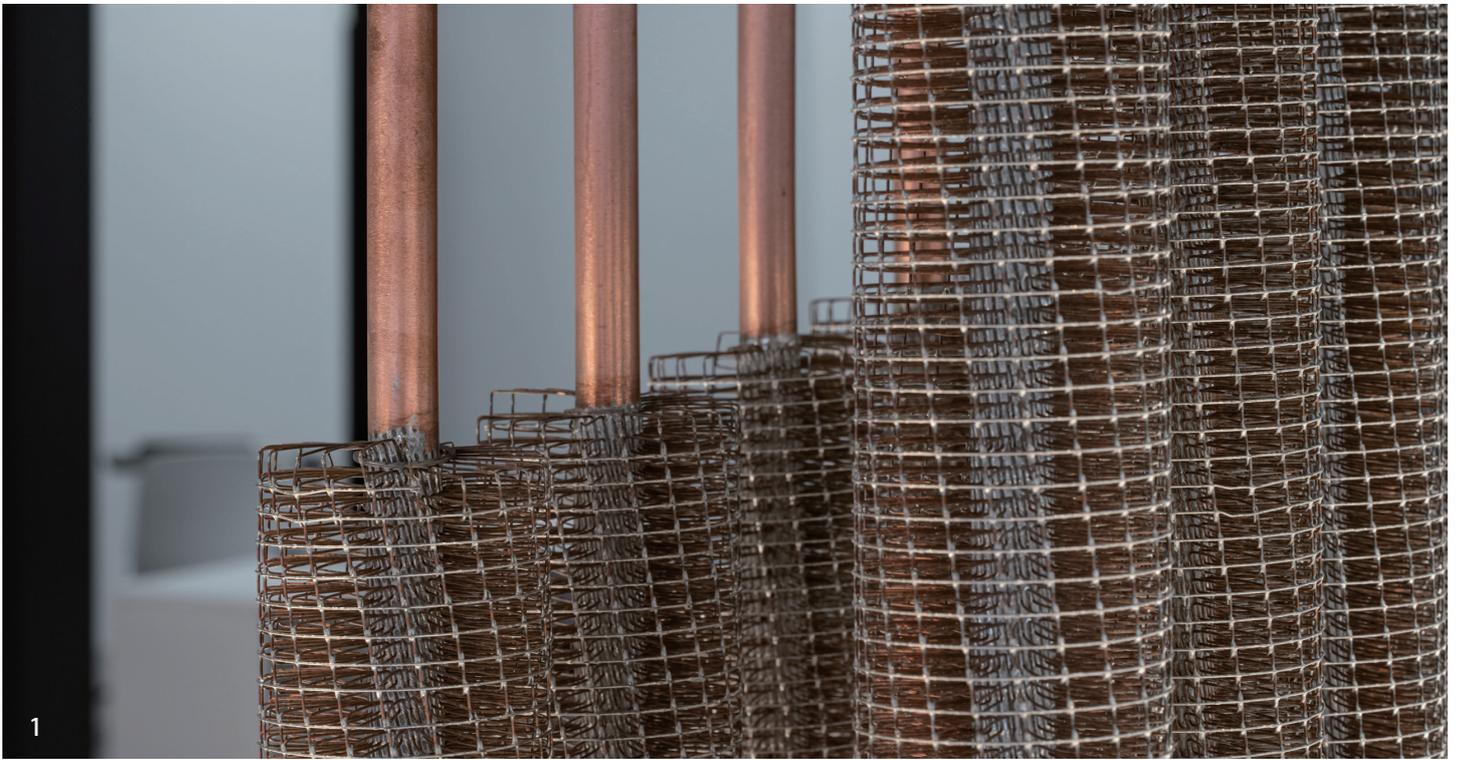
多様な快適環境をつくる一端を担っているのがピーエスの除湿型放射冷暖房です。ラジエータ内に冷温水を流し、放射と自然対流の力で空間の涼しさ・暖かさを保ちます。今回採用されたのは、銅製のPS HR-C+C。パイプ周りには細かく編まれた銅素材が巻かれ、空気中の水分を除湿して絡めとります。一般的な空調のオフィスでは、座る場所によっては風が直接当たる・空調音気になる場合がありますが、ピーエスの除湿型放射冷暖房は風を発生させずに無音で運転するので、不快な風を感じることなく空調音を気にせずに仕事に集中することができます。



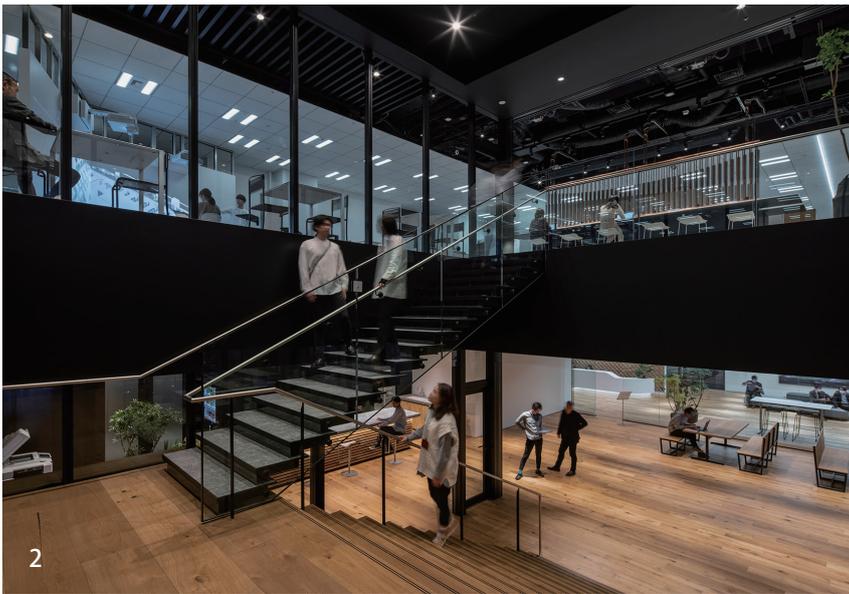
ピーエスグループ

北海道 | 盛岡 | 仙台 | 新潟 | 東京
長野 | 名古屋 | 大阪 | 福岡 | 熊本





1

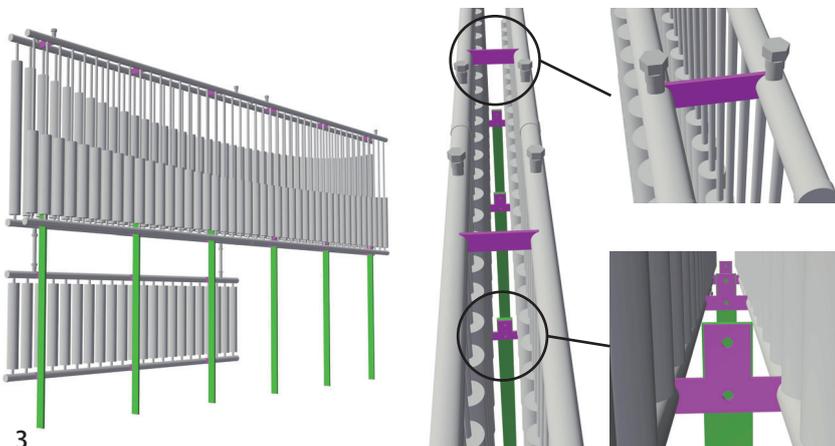


2

意匠性と機能性

PS HR-C+Cとカウンターを組み合わせたこの場所は「エネルギースポット」と名づけられました。中心にシンボリックにデザインされたHR-C+Cは、新オフィスのために日本設計とピーエスが検討を重ねたオリジナルプロダクトです。このように設計事務所からのニーズに柔軟に応えた開発行為が出来ることはピーエスのひとつの特徴です。今回検討されたデザインは、ピーエスの工場側にとっても前例のないチャレンジングな内容でした。日本設計とピーエスの営業・技術・工場担当が連携し、開発が進みました。製品設置における構造や耐震計算は日本設計が行い、冷暖房能力など設備面での条件検討をピーエス側が実施。デザイン案を3Dモデルで作成し、CAD上でモックアップを何案も検討しました。最終的にその他細部についても実機による製造確認がされ、制作に至りました。

環境のコンセプトや空間の中でPS HR-C+Cが果たす役割などもお互いに共有することで、空調用の放熱機とは思えない様な、ユニークで美しいデザインのものが出来上がりました。



3

1 除湿型放射冷暖房 PS HR-C+C は、銅パイプ周りの細かく編まれた銅素材により空気中の水分を大量に絡めとる機構を備えている。
 2 オフィス内の階段があがった先に、エネルギースポットがある。
 3 日本設計とピーエス間で 3D CAD を用いたスタディのやり取りで、細部の打ち合わせが繰り返された。



写真提供：日本設計